

関西支部シニア会活動報告(案)

行事名	機械・産業遺産ツアー（第17回特徴ある技術を有する企業見学会）
回次	第19回
開催日	2018年 11月 26日（月）
場所	NISSHA(株)本社：京都市中京区壬生花井町3
参加人数	25名（懇親会15名）
行程	14時00分 NISSHA(株) 本館2階レセプションホール集合 ～ 15分 ご挨拶 14時15分 印刷歴史館の見学「ゲーテンベルグ印刷機（複製）等」 15時15分 第1本社棟2F ギャラリーにて NISSHA の事業や製品の説明 15時45分 化粧品プラント工場、マイクロニードルの見学 16時45分 質疑応答、印刷歴史館玄関で集合写真 17時30分 阪急西院駅の塚田牧場で懇親会
感想	<p>NISSHA 印刷歴史館ではゲーテンベルグの印刷機（複製）をはじめ、石版印刷機、高速印刷を可能にしたハイデルベルグ活版印刷機などの印刷機を見学した。さらに、凸版印刷、平版（オフセット）印刷と凹版印刷の原理の説明を受けた。また凸印刷に欠かせない木製の活字、鉛合金の活字、鉛活字を作るための字母、平版（オフセット）印刷の石版やスクリーン、凹版印刷の木版を見学した。館内には、「解体新書」、「英文典初歩」辞書など数多くの歴史的な印刷物を見ることができた。</p> <p>本社ギャラリーでは、NISSHA の事業・製品の沿革について説明を受けた。見学に参加された多くの方は旧社名の「日本写真印刷（株）」から、「高級美術印刷」を手掛ける会社とイメージされていたようである。しかしここ数十年は、射出成形と同時加飾転写システムで作られた自動車インパネや家電製品のパネル、パソコンやスマートフォンに採用されているフィルムタッチセンサー、金属蒸着紙などを見るにつけ、最初の会社イメージとのギャップに驚かれたようである。説明をよく聞くと、プラスチック成型品への同時印刷技術、化粧品などの器に熱転写印刷、紙への蒸着金属膜印刷、透明フィルムへの高精細透明導電膜の印刷というように、キーテクノロジーはあくまでも印刷技術であり、それにコーティング、ラミネーション、成形、パターンニング技術を融合させてあらゆる産業分野に最大限活かそうとしていると思われた。メディカルテクノロジー事業の1つである美容品を作る化粧品プロトライン工場では、今日話題の「マイクロニードルパッチ」化粧品の生産工程を見学した。最後に印刷歴史館の玄関で集合写真を撮ったのちに、一路懇親会場に向かって、見学会を終了した。</p>



印刷歴史館見学の模様



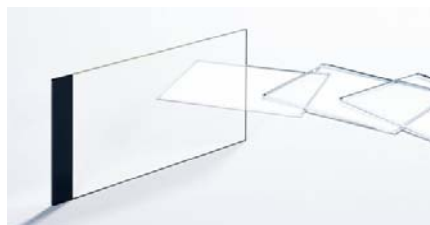
木製活字



解体新書



自動車をはじめとする産業資材



デバイス製品



マイクロニードル



NISSHA 印刷歴史館で記念撮影